

# 『夢二の夢』-竹久夢二の生涯-

明治17年(1884年)、岡山県の小さな造り酒屋に生まれた竹久夢二は、その後開花する大正ロマンのまさに寵児となりました。その活動は、日本画、水彩、油彩、版画、水墨画から、詩歌、作詞、童話、挿絵や装幀、デザインと多岐にわたり、そうしたマルチな側面は今日でも数多くの媒体などで紹介されています。

本名は、茂次郎(もじろう)。夢二という画号は、尊敬する藤島武二の名にちなんだものといわれますが、夢二がどんな思い入れで自らの名に“夢”を冠したのか? また、夢二にとっての“夢”とはどのようなものであったのか? それはこれまでほとんどとりあげられてきませんでした。しかし、彼の足跡や画業をたどればほのかに結んでくるかのようでもあります。

たとえば、夢二が欲した愛は成就すればたちまち生活という現実が浸食するような形のものでありました。愛が夢のようであるためには、永遠に成就することのない愛の世界に生きるしかない…その刹那こそ、夢二が安住できる身の置き所であったのです。晩年、夢二は榛名湖畔で清純な少女にかしずかれて永住することを念願し、その情景も描いています。そのタイトルは『旅』。生来人生を旅人としてしか生きられなかった夢二のジレンマをはからずも示唆しているものです。

夢二のその耽美的な資質は、はたしていつ形成されたのでしょうか。夢二の幼少の頃から青年期までの記録が少ないため判然とはしませんが、幾人もの女性たちとの愛をつづり、描きながらも、最後は孤独に殉じています。だからこそ夢二は、夢を夢幻の刹那として完結させることができたのかもしれません。「夢二の夢」ははたして何であったのか? 本展では、その多岐にわたる作品から検証し、この希代の画家の存在価値をあらためてクローズアップしていきます。夢も恋も、インターネット上のバーチャルなものが氾濫する今日の文明社会に、そして私たちの心に、夢二の夢の痕跡はいったい何をつたえてくれるのでしょうか。



少年山荘前に佇む夢二

## 関連イベント

- 8/3 (土) 10時～  
オープニングギャラリートーク「夢二の夢 そして恋」  
北アルプス展望美術館館長 新美康明氏 ※要企画展入館料
- 9/7 (土) 14時～  
ゲストギャラリートーク 「竹久夢二の生涯」  
竹久夢二美術館学芸員 石川桂子氏 ※要企画展入館料
- 募集制ワークショップ 7/25 (木) 受付開始  
どなたでも参加できます。定員20名 参加費:500円
- 8/23 (金) 19時～ ナイトツアーようこそ夜の博物館へ  
「大正浪漫パラダイス 夢二を味わう」
- 8/24 (土) 13時30分～  
「夢二の着物～大正ロマン着物コーディネート」

## 伝国の杜ファンクラブのつどい 竹久夢二展 ゲストギャラリートーク & ミュージアムコンサート

ファンクラブ限定

作品の解説と、夢二が挿絵を手がけたセノオ楽譜の童謡を中心とした演奏。また、夢二の詩や手紙などにインスピレーションを得て制作されたオリジナル曲や、創作地唄舞もお楽しみ頂けます。終了後は、出演者を囲んでの交流会を開催致します。

日時: 9/7(土) 19:00～21:00

スペシャルゲスト:  
竹久夢二美術館学芸員 / 石川桂子

出演 ◆新美桂子 (歌/玩具楽器)、藤元高輝 (ギター)、伊左治直 (鍵盤/打楽器)  
◆古澤侑峯 (創作地唄舞「待てど暮らせど」)

会場: 伝国の杜 企画展示室・ミュージアムカフェ  
定員: 50人程度(定員になり次第締め切り)  
対象: ファンクラブ会員と同伴者1名まで。(参加無料・要事前申込み)  
申込受付: 7/1(月)～

たのしみかたいる  
伝国の杜ファンクラブ会員募集中  
入会受付中  
会員期間～2014/3/31まで

次回展覧会 特別展「忠臣蔵の真実～赤穂事件と米沢～」 10月5日(土)～11月24日(日)

## 置賜文化ホール連携事業

童謡詩人 金子みすゞ生誕110年 ひとり芝居「空のかあさま」

8/9(金)18:30開演

【出演】谷 英美(女優、『アローン・シアター』主宰)

全席自由 前売1,500円 当日2,000円

チケット発売中(0238-26-2666) \*学生は学生証提示で無料となります。  
\*未就学児の入場はご遠慮ください。



ホールチケットで夢二展がお得!!

合算している置賜文化ホールで8/9(金)開催される『童謡詩人金子みすゞ生誕110年 ひとり芝居「空のかあさま」のチケットをご提示いただきますと、本展覧会が会期中1回に限り団体料金でご観覧いただけます。

## 伝国の杜 米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1  
TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660  
<http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>

- JR米沢駅から2km、上杉神社隣接
- 市内循環バス「上杉神社前」下車
- 市内循環バス南回り路線「九里学園」前下車
- 山形蔵王IC・福島飯坂ICよりR13で約50分

